

# 総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
4 - 1 - 1	消費者ニーズに対応した農林産物を創出する	
重点施策ID	重点施策名	
4 - 1 - 1 - 3	農業振興対策の強化	

2. 事業名等			
事業名	農業振興センターの設置	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名	農業振興センター運営事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
事業主体	市、J A、農業委員会、農業共済組合		① ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 ( )
実施期間	平成 19 年度 ～ 平成 21 年度	根拠法規	担い手育成・確保総合支援事業実施要領
各種の計画への反映 (=根拠計画)		豊後大野市農業振興計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 近年、国の水田経営所得安定対策、水田農業構造改革対策など農業施策が大転換しており、これまでのような縦割りの対応では振興が図れなくなってきた。	補助事業	名称	
		補助率	国 1/ 県 1/ その他 1/
	起債の種類	①	
		②	
		③	
事業の目的及び対象	事業概要		
【目的】 豊後大野市における長期的かつ総合的な農業・農村の振興を図り、また農家の安定した農業経営を支援する。	農業振興センターについては、市や農業委員会、J A、農業共済組合、水田農業推進協議会の関係機関でワンストップ化を図り、市担い手育成総合支援協議会が国の事業を活用しながら運営を行う。		
【対象】 農業者	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容	
	E 維持		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,395	1,625	1,625	1,625	1,625
	計			1,395	1,625	1,625	1,625	1,625
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			1,395	1,625			
	計			1,395	1,625			

5. 実績及び達成目標等							
過去3年間の事業実績と課題							
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題				
【実績】事業費	【実績】事業費 (ワンストップ窓口設置費=市負担分) 1,395千円	【実績】事業費 (ワンストップ窓口設置費=市負担分) 1,625千円					
達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	ワンストップ窓口の設置						
効率指標	-						
成果指標	-						
	単位						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別							
目標値							
実績値							
達成率							
備考							

# 総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	農業振興センターの設置に伴う窓口のワンストップ化は国の方針のひとつでもあり、担い手が個々の経営や技術に関する相談などに対し、一元的に応じる体制を整備して、的確に助言や指導を行うことは必要不可欠である。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	農業振興を図るためには、民間と一体になって事業を進める必要があり、そのために現状では行政が積極的に関与していかなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	農業振興センターの運営については、国の事業を活用する一方、関係機関も応分の負担をしているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	農業振興センターを設置したことで、関係機関との連携に関しては設置以前と比較して、密度の濃いものとなっている。また、利便性が高まったことにより、センターを訪れる住民や関係者にも好評であるため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	農業振興センターの運営費については、設置当初から必要最小限の経費で運営できるよう予算措置をしているため。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	農業情勢の変化や事業の多様化に対応していくためには、現状の人員の確保が必要である。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	国がワンストップ支援窓口の設置を推進していることとあわせて、担い手が抱える様々な経営課題の相談に応じるなど一元的なサービスの提供が必要のため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
【ワンストップ支援窓口の設置状況】 九州管内では、大分県豊後大野市、鹿児島県大崎町の2ヶ所。 農業振興センターの事務所は、平成21年8月に大分県豊後大野総合庁舎から、市中央公民館に移転する。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	